

第71回日本臨床眼科学会

イブニングセミナー5

- 日時：2017年10月13日(金) 17:10～18:10
- 会場：第1会場(東京国際フォーラム ホールC)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

DME治療をどう考える? ～データから紐解く実臨床へのヒント～



◆座長◆

日下 俊次 先生 近畿大学医学部堺病院 眼科教授



◆演者1◆

DMEに対する薬物療法の基礎知識

植村 明嘉 先生 名古屋市立大学大学院医学研究科 網膜血管生物学寄附講座 教授



◆演者2◆

臨床から考えるDMEの最適治療

鈴間 潔 先生 京都大学大学院医学研究科眼科学 准教授

共催



Bayer バイエル薬品株式会社



Santen 参天製薬株式会社

※本セミナーのご参加にあたり、弊社による旅費の負担はできませんことをご了承ください。

DME治療をどう考える？

～データから紐解く実臨床へのヒント～

◆ 座 長 ◆

日下 俊次 先生 近畿大学医学部堺病院 眼科教授

糖尿病黄斑浮腫 (DME) には多様な病態と治療法があり、現在のところ明確なコンセンサスがまだ十分確立できていません。本セミナーでは「DME治療をどう考える？ ～データから紐解く実臨床へのヒント～」と題して、最前線でご活躍されているお二人のエキスパートの先生方にご講演をお願いいたします。植村明嘉先生 (名古屋市立大学) からは基礎・病態の観点で、各種サイトカインの関与など最新の知見をアップデートしていただきます。また、鈴間潔先生 (京都大学) からは臨床の観点で、日常診療におけるDMEの最適な治療についてお話しいただきます。基礎・病態および臨床の両面からDME治療の「考え方」についてレクチャーいただくことにより、ご参加いただいた先生方の疑問・迷いが少しでも解消し、明日からのDME治療のお役に立つことができれば幸いです。

■ 略歴

1986年 大阪大学医学部卒業、同附属病院研修医
1987年 国立大阪病院眼科
1991年 多根記念眼科病院
1992年 愛媛大学医学部眼科助手
1994年 ミシガン大学眼科研究員
1997年 大阪大学医学部眼科助手および講師
2002年 大阪府立急性期・総合医療センター眼科部長
2004年 大阪大学大学院医学系研究科准教授
2005年 大阪大学医学部附属病院 病院教授
2010年 近畿大学医学部堺病院 眼科教授 (現在に至る)

◆ 演者1 ◆

DMEに対する薬物療法の基礎知識

植村 明嘉 先生 名古屋市立大学大学院医学研究科 網膜血管生物学寄附講座 教授

■ 略歴

1996年 京都大学医学部卒業、同附属病院眼科研修医
1997年 田附興風会北野病院眼科研修医
2003年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了
2003年 理研CDB幹細胞研究グループ研究員
2007年 神戸市立医療センター中央市民病院眼科副医長
2009年 神戸大学大学院医学研究科血管生物学分野特命助教
2014年 名古屋市立大学大学院医学研究科網膜血管生物学寄附講座教授

◆ 演者2 ◆

臨床から考えるDMEの最適治療

鈴間 潔 先生 京都大学大学院医学研究科眼科学 准教授

■ 略歴

1993年 京都大学医学部卒業
1993年 和歌山赤十字病院
1995年 京都大学大学院視覚病態学
1998年 Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School留学
2001年 京都大学医学研究科眼科学 助手
2006年 静岡県立総合病院 眼科長
2008年 長崎大学医歯薬学総合研究科眼科視覚科学 講師
2010年 長崎大学医歯薬学総合研究科眼科視覚科学 准教授
2014年 京都大学医学研究科眼科学 准教授 (現在に至る)